

地域リハビリテーション支援体制と 災害時の取り組みについて

石川県

石川県リハビリテーションセンターの組織



所長（医師）

庶務課

（事務管理）

事務次長
兼課長

地域
リハ支援

リハビリテーション支援センター

介護業務改善相談支援センター

バリアフリー推進工房

難病相談支援センター

高次脳機能障害相談支援センター

技術次長
兼課長
（作業療法士）

- 理学療法士 : 1
 - 作業療法士 : 6
 - リハ工学技師 : 3
（うち兼務 2 : 工業試験場、土木部）
 - 社会福祉士 : 1
-
- 保健師 : 4
 - 看護師 : 1

連携

石川県の地域リハビリテーション支援体制（H18～）



地域リハビリテーション推進検討会議

〔構成：学識経験者、職能団体、市町村、当事者団体等〕

- 地域包括ケア推進に資するリハビリテーションのあり方の検討
- 人材育成に関する研修事業の検討 など

連携

石川県リハビリテーション支援センター

〔石川県リハビリテーションセンター〕

- 支援機関等からの相談に基づく技術支援
- 研修等による人材育成
 - ✓ 市町事業（地域リハ活動支援事業）に関わるリハ専門職の人材育成
 - ✓ 支援機関等に対するリハ視点の知識・技術を伝達するための研修 等

相談

支援

市町・地域包括支援センター

・支援機関（保健・福祉・医療・就学・就労等支援機関）

相談

支援

高齢者・障害者等

支援

地域リハビリテーション推進検討会議の構成員

区 分	関 係 分 野
学識経験者	リハビリテーション科専門医
	バリアフリー・ユニバーサルデザイン
職能団体	石川県医師会
	石川県看護協会
	石川県理学療法士会
	石川県作業療法士会
	石川県言語聴覚士会
	石川県医療ソーシャルワーカー協会
	石川県介護支援専門員協会
	石川県相談支援専門員協会
	全国福祉用具専門相談員協会 石川県ブロック
当事者団体	石川県身体障害者団体連合会
施設関係	石川県身体障害者福祉施設部会
就労・教育等	高齢・障害・求職者雇用支援機構石川支部 石川障害者職業センター
	石川県立いしかわ特別支援学校

（その他）県関係部局、県リハビリテーションセンター

石川県リハビリテーション支援センターの取組（技術支援）



支援機関等に対する技術支援

県内の保健・医療・福祉・教育・就労等の支援機関からの依頼を受け、専門職（**理学療法士、作業療法士、リハビリテーション工学技師、保健師**など）による**障害のある方や高齢者の自立と社会参加を目的とした技術支援**を実施

	個別ケースに対する支援	連絡会等への参加等
支援実績 (R7年度)	延件数 1,240件 実人数 303人	44件
支援内容	<ul style="list-style-type: none">① 福祉用具の適合や住環境調整による自立支援② 日常生活動作(ADL:食事等)、生活関連動作(IADL:家事等)の自立を促す支援③ 健康管理、機能低下や変形、生活不活発の予防に関する支援④ 障害者の自動車運転に関する支援 等	<ul style="list-style-type: none">① 運動・作業等の指導② 施設環境の調整や福祉用具購入に関する相談③ 会議への参加 等



移乗介助の軽減を目的にリフトの導入検討



石川県リハビリテーション支援センターの取組（人材育成①）

市町事業に関わるリハ専門職の人材育成

市町が取り組む**地域支援事業**（地域リハビリテーション活動支援事業）等を支援するため、**リハ専門職協力者名簿**の作成
→**市町のリハ専門職活用の促進**

- ① **市町事業に関わるリハ職育成の研修の実施**
（県や職能団体）
- ② 研修修了者から各職能団体が推薦する者を、**市町事業に協力できる者として名簿に登録（HP掲載）**
- ③ **市町や地域包括支援センターへの周知**
（県→市町）

市町事業に関わるリハ専門職
の協力者数（R7年7月末現在）

職種	実人数	延べ人数
理学療法士	35	114
作業療法士	40	96
言語聴覚士	13	41

リハ専門職協力者登録

登録：県リハビリテーションセンターのホームページに掲載

各士会より推薦

推薦要件：県PT士会 登録理学療法士(*)
県OT士会 現職者共通研修修了・MTDLP基礎研修修了
県ST士会 地域リハリーダー養成研修・初期研修修了(*)

研修② 地域包括ケアとリハビリテーションシンポジウム 等
主催：県PT・OT・ST連絡会（県委託事業） ※3年毎に再履修が必要



研修① 導入研修（基礎：PT・OT・ST共通内容）
市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修
共催：県リハビリテーションセンター、県PT・OT・ST連絡会

* PT士会: 登録理学療法士とは、最短で前期研修3年・後期研修2年で履修可
* ST士会: 地域リハリーダー養成研修・初期研修の受講要件は、臨床経験5年以上
もしくはST士会会員研修プログラムベーシックコースの必須項目修了

支援機関等に対する研修

福祉用具活用に関する研修

研修区分	実績（R6）
職場環境改善研修	1回（参加者：33名）
福祉用具活用研修（出前講座）	3回（参加者：計72名）



福祉用具活用研修（出前講座）

福祉用具・移乗機器の選定や活用方法について、現場に即した内容で講義と技術研修を実施
介助負担軽減につながる介護ロボットや移乗用リフトなどの活用技術を深めた

復興リハビリテーション支援事業（経緯）



- ✓ **発災後**、避難所において被災高齢者等の健康状態の悪化や災害関連死を積極的に予防する必要性から、**JRATがリハビリ支援**を実施
- ✓ **JRATの活動終了(R6.4)**に伴い、支援継続のため**県が主体となり、支援活動(復興リハビリテーション支援事業)**を展開

年月	事 項
R 6 年 1 月	1日 能登半島地震発生 3日 石川JRAT災害対策本部設置(金沢医科大学) 8日 石川JRATが円滑に被災者支援ができるよう石川県と協定書を締結 →1.5次避難所、被災地での活動開始 13日 石川本部を県リハビリテーションセンターに移転 14日 地域JRAT活動開始
3 月	12日 災害リハ支援担当者連絡会開催 →JRAT関係者、リハ専門職団体、県、県リハセンでJRAT活動終了後の支援体制について協議
4 月	上旬 能登6市町公立病院とのJRAT活動終了後の支援体制（復興リハ事業）について協議 13日 JRAT引継ぎ会議（JRATと県リハセン） 30日 JRAT活動停止
5 月	1日 熊本県職員から熊本地震における復興リハ事業の説明を受ける(震災復興に向けた地域包括支援センターネットワーク会議) 下旬 能登の公立5病院に復興リハ事業の正式協力依頼 28日 災害リハ支援担当者連絡会開催 →JRAT関係者、リハ専門職団体、県、県リハセンで復興リハ事業について協議
6 月	上旬 復興リハビリテーション支援事業開始

市町や専門機関と連携した被災者への各種支援



被災者の所在

発災後～これまで
避難所がメイン



1箇所に複数人で過ごす

災害派遣チームが中心となり対応

今後

自宅帰還、仮設住宅への入居が本格化



自宅・仮設住宅で個人で過ごす

周囲の目が届きにくくなることによる**被災者の孤立**、
生活環境の変化による**心身の不調が懸念**

見守り・状況把握

仮設住宅入居者、
在宅の高齢者・障害者
等への個別訪問

各市町や県において、
社会福祉協議会、
専門ボランティア団体
等により実施

被災者
データベース
を活用

個別訪問の
情報集約

要支援者等を把握

必要な支援につなぐ

個々の被災者に必要な支援をきめ細かく提供

生活環境変化に
伴うメンタル不調

被災者のこころのケア

精神科医・保健師等による訪問相談等

運動量低下による
要介護化

介護予防・悪化防止

リハビリ専門職による集会所等での介護予防活動等

栄養バランスの乱れ
による健康状態悪化

栄養・食生活支援等

栄養士等による栄養指導や食生活改善サポート

復興リハビリ
テーション
支援事業

仮設住宅等における通所・在宅サービスの拠点整備を支援

食事・入浴等を提供するデイサービスや総合相談支援を包括的に提供

⇒要支援者以外にも利用できるようにすることでコミュニティづくりの拠点に

復興リハビリテーション支援事業



仮設住宅・在宅生活の要支援者・障害者等

支援

市町（主に能登6市町を対象に医療機関と連携した活動）

珠洲市 輪島市 穴水町 能登町 志賀町 七尾市

情報共有

支援

珠洲市担当 珠洲市総合病院
輪島市担当 市立輪島病院
穴水町担当 公立穴水総合病院
能登町担当 非常勤リハ職
志賀町担当 町立富来病院
七尾市担当 公立能登総合病院

市町連絡調整・ニーズの把握、地域関係団体調整、技術支援等

情報共有

派遣支援

R7からは公立宇出津総合病院も参加

派遣支援

県リハビリテーションセンター
（リハ専門職9名、リハ工学技師1、保健師4）

リハビリテーション地域活動支援事業

活動計画立案、派遣人員調整、関係団体調整、専門的技術支援等

協力病院からのリハ専門職等の派遣

- ・社会医療法人財団董仙会
- ・石川県済生会金沢病院
- ・金沢医科大学病院 等

県（健康福祉部：厚生政策課・長寿社会課）

医師会
・リハ
専門職
団体等

相談

情報共有

＜主な協力医療機関＞

珠洲市総合病院

市立輪島病院

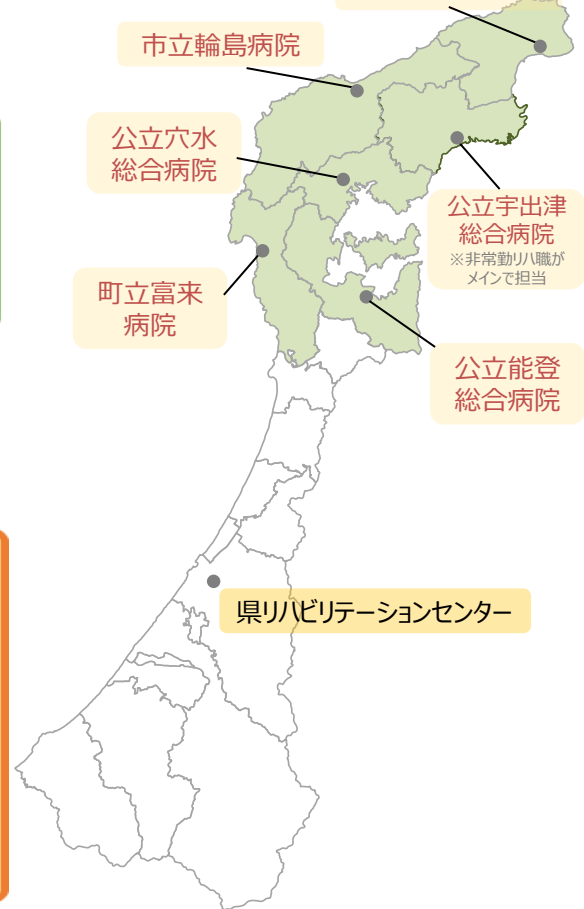
公立穴水
総合病院

町立富来
病院

公立宇出津
総合病院
※非常勤リハ職が
メインで担当

公立能登
総合病院

県リハビリテーションセンター



R6. 6月から、**県リハビリテーションセンター**が、**能登6市町の病院のリハビリ専門職と連携し、仮設住宅や被災自宅**で閉じこもりがちな**高齢者等の要介護化や状態悪化を予防**

○ 仮設住宅の集会所等で介護予防のための教室を開催

【活動メニュー】

体操、脳トレ、手芸、塗り絵、書写、園芸など

➡集会所等、**150箇所**で活動を展開
延べ約1,000回以上開催、1万6千人以上が参加
※R7.9月末時点



参加者の声

- ・ みんなと顔を会わせて、一緒に体を動かせるのが楽しい
- ・ 介護予防の大切さが分かった
- ・ 集会所で話相手や友人ができた
- ・ 畑作業もしたい

○ 仮設住宅への個別訪問による相談支援、仮設住宅の生活環境の改善

【支援内容】

- ・ 生活の困りごと相談支援
- ・ 仮設住宅での車いすの生活動作の支援
- ・ 個別の身体機能や生活ニーズに合わせた**住宅改修**（新たな手すり取付け 等）

見守り・相談支援からの
情報を受けて個別訪問

➡**全団地210戸の改修工事を終了（R6）**

*** 建設型応急仮設住宅入居者転倒予防対策（県土木部と協働）**



仮設住宅の住民の声

- ・ 浴室の踏み台と手すりの取付けで、お風呂に不安なく入ることができた
- ・ 生活動作支援のおかげで車いすでも安心して在宅生活ができる

リハ専門職の活動実績(令和7年度)

R7年度
実績

リハ専門職活動日数(全体)※県リハセン職員含む

(単位：人・日)

R7年度	珠洲市	輪島市	能登町	穴水町	志賀町	七尾市	計
4月	34	31	21.5	15.5	21.5	3.5	127
5月	37	29.5	28.5	17	18.5	4	134.5
6月	34	23.5	24	14.5	20	6.5	122.5
7月	40.5	29	24.5	18	20.5	6	138.5
8月	29	26	18	13.5	13.5	4.5	104.5
9月	32	29	20	15	13	4.5	113.5
10月	31	35.5	24	17	16	7.5	131
11月	28	24.5	18.5	15.5	13	5	104.5
12月	32.5	18	18.5	16	15.5	6	106.5
1月	24	15	17	11	12	7.5	86.5
2月	25.5	17.5	18.5	14	14	5.5	95
3月	26.5	13.5	18	6	14	6.5	84.5
計	374	292	251	173	191.5	67	1348.5
月平均	31.2	24.3	20.9	14.4	16.0	5.6	112.4

リハ専門職の活動実績(令和6年度)

R6年度実績
(R6.6月～)

リハ専門職活動日数(全体)※県リハセン職員含む

(単位：人・日)

R6年度	珠州市	輪島市	能登町	穴水町	志賀町	七尾市	計
6月	11	25.5	10	9.5	6	0.5	62.5
7月	17	33	10	11	10	2	83
8月	15	34.5	26	14	7	3.5	100
9月	21	37.5	26.5	12	7.5	4	108.5
10月	27	36.5	30.5	19	18	3	134
11月	30	37	26	25.5	14.5	1.5	134.5
12月	32	31.5	22.5	21	18.5	1	126.5
1月	31.5	39.5	21	18.5	14.5	3	128
2月	39.5	34.5	21	16.5	15.5	7	134
3月	33	41	26.5	21.5	21.5	4	147.5
計	257	350.5	220	168.5	133	29.5	1158.5
月平均	25.7	35.1	22.0	16.9	13.3	3.0	115.9

介護予防教室の開催実績(令和7年度)

R7年度
実績

<開催回数>

(単位：回)

	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	計
珠洲	11	12	18	16	9	8	11	6	12	6	5	4	118
輪島	32	42	38	38	40	44	45	36	26	26	23	21	411
能登	18	15	16	17	13	15	20	14	14	10	10	11	173
穴水	7	9	8	8	6	8	5	5	5	5	4	5	75
七尾	4	7	10	11	8	9	15	9	11	14	11	12	121
志賀	14	10	13	15	11	12	12	10	13	12	8	9	139
計	86	95	103	105	87	96	108	80	81	73	61	62	1,037

<延べ参加者数>

(単位：人)

	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3	計
珠洲	99	104	160	147	90	65	109	66	131	48	44	30	890
輪島	1,388	1,347	1,306	1,418	1,041	1,237	1,319	1,148	906	882	763	289	10,309
能登	115	94	101	128	97	106	175	112	114	89	74	90	1,086
穴水	64	95	85	81	61	89	57	55	65	42	47	79	661
七尾	48	69	125	110	84	94	137	86	112	136	99	116	1,099
志賀	158	110	182	166	141	153	202	115	165	162	96	93	1,475
計	1,872	1,819	1,959	2,050	1,514	1,744	1,999	1,582	1,493	1,359	1,123	697	15,520

介護予防教室の開催実績(令和6年度)

R6年度実績
(R6.6月～)

<開催回数>

(単位：回)

	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	計
珠洲	0	0	0	0	1	8	8	9	9	10	45
輪島	5	12	31	29	43	49	45	45	33	42	334
能登	0	0	4	4	7	8	8	12	11	11	65
穴水	0	0	0	2	1	6	10	10	9	10	48
七尾	0	1	2	5	0	2	2	4	4	5	25
志賀	0	4	0	0	0	4	8	8	8	11	43
計	5	17	37	40	52	77	81	88	74	89	560

<延べ参加者数>

(単位：人)

	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	計
珠洲	0	0	0	0	12	81	86	88	139	113	519
輪島	34	220	407	382	242	420	469	525	615	634	3,948
能登	0	0	18	28	59	58	64	107	84	85	503
穴水	0	0	0	22	8	97	126	129	100	93	575
七尾	0	13	17	54	0	26	28	48	48	60	294
志賀	0	72	0	0	0	53	86	99	150	123	583
計	34	305	442	486	321	735	859	996	1,136	1,108	6,422

個別訪問活動実績(令和7年度)

R7年度
実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
輪島市	12	9	25	25	11	19	19	13	16	14	11	10	184
珠洲市	101	177	129	173	108	126	130	114	155	89	108	96	1506
能登町	54	122	103	96	73	76	104	69	59	67	78	66	967
穴水町	31	60	78	84	61	100	61	58	64	53	55	56	761
七尾市	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
志賀町	34	43	48	57	40	58	54	40	42	37	36	46	535
	232	411	384	435	295	379	368	294	336	260	288	274	3,956

仮設住宅の集会所等で介護予防のための教室(アクティビティセンター)



●運営方針

- ・ ふらっと立ち寄りたくなる、顔見知りができる、**日課として継続的に活動したくなる場の提供**
- ・ **閉じこもる傾向のある被災者に声かけ**を行い、その方の状況に対応した参加への働きかけ
- ・ 参加者の**主体性を尊重**し、過剰な手伝いや介助、介入は控え、**本人の能力(できること)にあった作業**にさりげなく誘導



令和6年被災者生活再建支援法
被災者生活再建支援法

ちょっと 外に出てこんけ？

「ころ」と「からだ」を動かしましょう

被災地域での生活は、心も体も疲れがたまっていることに加えて、普段と異なる生活により、不活発になりがちです

からだを動かさない → 心身の疲れがたまる → もっと動きにくくなる → 歩くことが難しくなる

→裏面のチェックリストでチェックしてみましょう

**アクティビティセンターで
楽しくリフレッシュしている
皆さん**

場所 小木地域交流センター
2階

時間 毎週木曜日
午後1時30分～午後3時

内容 脳トレ・手芸・塗り絵
体操 など

* どなたでもいらしてください
* 一人一人のやりたいことに合わせて
時間をすごせます
* 身体の不活発を少なくできる工夫を
考えます
* 道中が心配な人はご相談ください

毎週火曜日は
午後1時30分から
いきいき百歳体操
を行っています

能登町復興リハビリテーション
担当：森山恵子（作業療法士）
TEL：070-2319-0664

ちらし表

生活不活発病チェックリスト

下の①～⑥の項目について、
災害前（左側）と 現在（右側）のあてはまる状態に印☑をつけてください。

災害前	現在
<p>① 屋外を歩くこと</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> ☐ 遠くへも1人で歩いていた ☐ 近くなら1人で歩いていた ☐ 誰かと一緒に歩いていた ☐ はほとんど外は歩いていなかった ☐ 外は歩けなかった </div> <div style="width: 45%;"> ☐ 遠くへも1人で歩いている ☐ 近くなら1人で歩いている ☐ 誰かと一緒に歩いている ☐ はほとんど外は歩いている ☐ 外は歩けない </div> </div>	
<p>② 自宅内を歩くこと</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> ☐ 何もつかまらずに歩いていた ☐ 壁や家具を伝って歩いていた ☐ 誰かと一緒に歩いていた ☐ 這うなどして動いていた ☐ 自力では動き回れなかった </div> <div style="width: 45%;"> ☐ 何もつかまらずに歩いている ☐ 壁や家具を伝って歩いている ☐ 誰かと一緒に歩いている ☐ 這うなどして動いている ☐ 自力では動き回れない </div> </div>	
<p>③ 身の回りの行為（入浴、洗面、トイレ、食事など）</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> ☐ 外出時や旅行の時に不自由はなかった ☐ 自宅内では不自由はなかった ☐ 不自由があるがなんとかしていた ☐ 時々人の手を借りていた ☐ はほとんど助けてもらっていた </div> <div style="width: 45%;"> ☐ 外出時や旅行の時に不自由はない ☐ 自宅内では不自由はない ☐ 不自由があるがなんとかしている ☐ 時々人の手を借りている ☐ はほとんど助けてもらっている </div> </div>	
<p>④ 車いすの使用</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> ☐ 使用していなかった ☐ 時々使用していた ☐ いつも使用していた </div> <div style="width: 45%;"> ☐ 使用していない ☐ 時々使用 ☐ いつも使用 </div> </div>	
<p>⑤ 外出の回数</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> ☐ はほぼ毎日 ☐ 週3回以上 ☐ 週1回以上 ☐ 月1回以上 ☐ はほとんど外出してなかった </div> <div style="width: 45%;"> ☐ はほぼ毎日 ☐ 週3回以上 ☐ 週1回以上 ☐ 月1回以上 ☐ はほとんど外出していない </div> </div>	
<p>⑥ 日中どのくらい体を動かしていますか</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> ☐ 外でもよく動いていた ☐ 家の中でもよく動いていた ☐ 座っていることが多かった ☐ 時々横になっていた ☐ はほとんど横になっていた </div> <div style="width: 45%;"> ☐ 外でもよく動いている ☐ 家の中でもよく動いている ☐ 座っていることが多い ☐ 時々横になっている ☐ はほとんど横になっている </div> </div>	

次のことはいかがですか？

⑦ 地震の前より、歩くことが難しくなりましたか？
☐ 変わらない ☐ 難しくなった

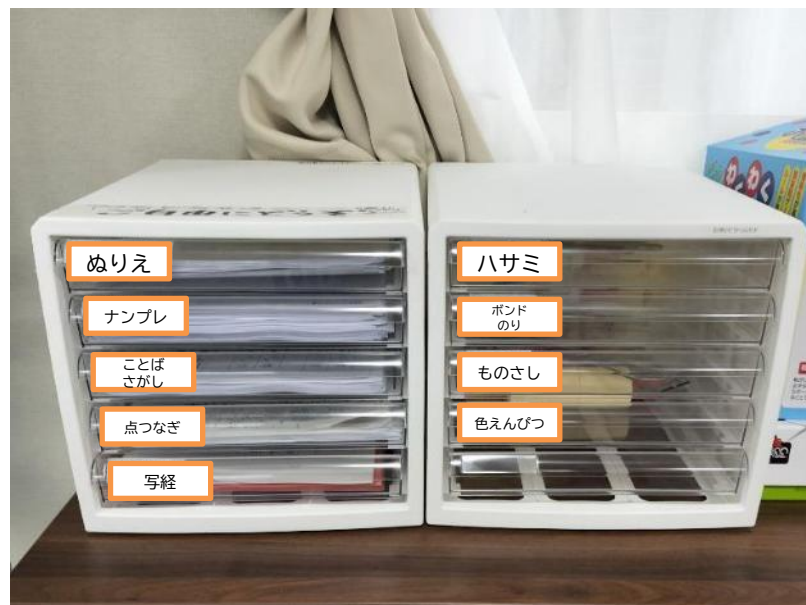
⑧ ほかに、難しくなったことはありますか？
☐ ない ☐ ある → ☐ 和式トイレをつかう ☐ 段差（高い場所）の上り下り ☐ 床からの立ち上がり
☐ その他（具体的に記入を：）

氏名 _____ （男・女、才） 月 日 現在

※このチェックリストで、赤色の□（一番よい状態ではない）がある時は注意してください。
 ※特に①～⑥の項目で、災害前（左側）と比べて、現在（右側）が1段階でも低下している場合は、早く手を打ちましょう。

ちらし裏

作業環境の整備



物品を整理し統一をはかることで、準備や後片付けをしやすくする。



作業を選びやすく、活動の動線に配慮する。



AC開催中は外に掲示している。
無理せず長く続けられるように、
ということを記載。



AC開催日以外でも利用できるように置きっぱなしにしている。

仮設住宅への個別訪問による相談支援、仮設住宅の生活環境の改善



仮設住宅への個別訪問を行う中で、高齢者の身体特性によっては日常生活において転倒等の予防対策が必要な事例がみられるため、**県土木部と連携して追加の手すり設置工事を実施（R6年度）**

※手すり設定工事の予算は県土木部

①手すり追加工事等の**必要性についてリハ専門職によるアセスメント**



②県土木部との協働での**現場確認・手すり追加工事**



	住宅改修 件数 (件)	全戸数 ※ちらし配布 訪問確認 (件)
輪島市	59	2,897
珠洲市	60	1,718
能登町	43	571
穴水町	25	532
七尾市	9	575
羽咋市	1	67
志賀町	12	393
中能登	1	30
計	210	6,783



定例会議 R 6. 6. 5から毎週開催（水曜日） 16：30～17：15
（R 6 年度 40回開催、R7年度 43回開催）

【参加者】

- ・6市町復興リハビリテーション担当者
- ・協力機関リハビリテーション専門職
- ・県長寿社会課
- ・県リハビリテーションセンター

**顔の見える
関係性**

大施策 5 被災者・被災地への支援の充実

中施策 7 避難者や被災者の健康管理

小施策 3 被災者へのリハビリテーション支援

【取組】被災者の生活不活発病予防や介護予防への支援

被災者の生活不活発病予防や介護予防のため、仮設住宅に入居する高齢者・障害者等に対し、リハビリテーション専門職の派遣や相談対応等を実施します。(健康福祉部)

取 組	短 期 (～R7末)		中 期 (～R10末)			長 期 (～R14末)			
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
被災者の 生活不活発病予防や 介護予防への支援	● 仮設住宅等への リハビリテーション 専門職派遣 ● 被災者の相談支援		市町の事業化支援						
	市町の人材育成、研修会の実施								

➡復興リハ事業終了後の市町の事業化支援のあり方(地域の医療機関との連携)の検討が必要